

# 平成29年度「県民Webアンケート」 第5回 奈良の生物多様性について

○実施期間 2017/8/31～2017/9/6

○アンケート会員数 240人 回収数 206件 (回収率 85.8%)

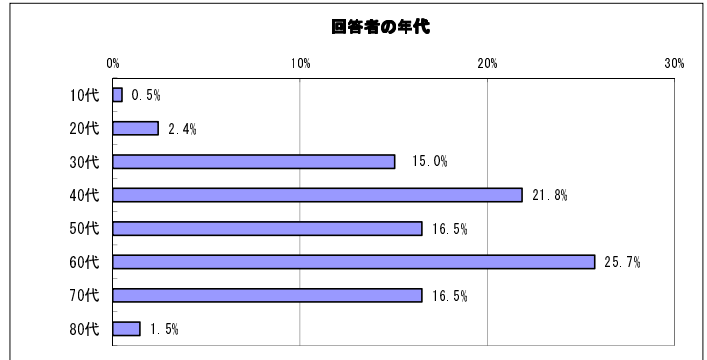
○平素より、県の自然環境の保全にご協力いただき、ありがとうございます。

県では平成25年3月に生物多様性なら戦略を策定いたしました。戦略では、生物多様性への認知度を高めることを目標の1つに掲げております。

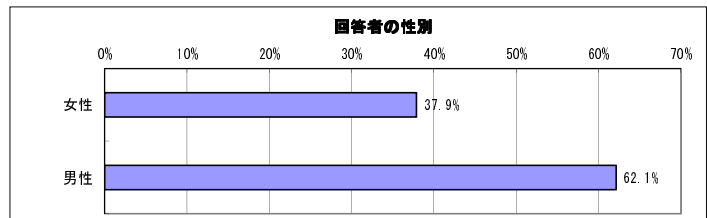
そこで、皆様の生物多様性への意識や認知度について現状を把握するため昨年度と同様のアンケートを実施し、今年度の結果との比較検討をすることで、今後の取り組みに活用させていただきたいと考えております。

ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

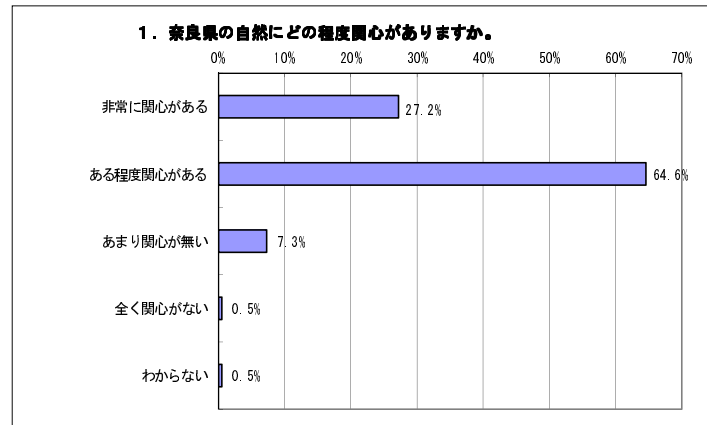
回答者の年代	回答数	比率
10代	1	0.5%
20代	5	2.4%
30代	31	15.0%
40代	45	21.8%
50代	34	16.5%
60代	53	25.7%
70代	34	16.5%
80代	3	1.5%
総計	206	100.0%



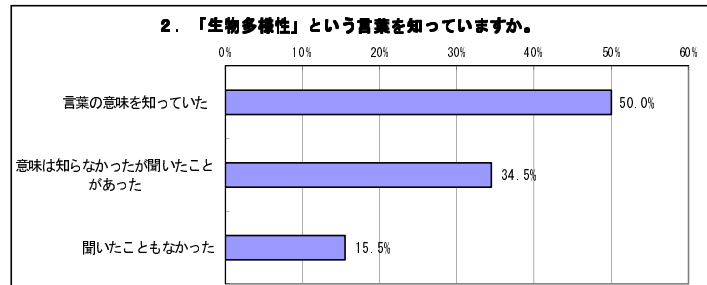
回答者の性別	回答数	比率
女性	78	37.9%
男性	128	62.1%
総計	206	100.0%



1. 奈良県の自然にどの程度関心がありますか。	回答数	回答対象者	比率
非常に関心がある	56	206	27.2%
ある程度関心がある	133		64.6%
あまり関心が無い	15		7.3%
全く関心がない	1		0.5%
わからない	1		0.5%
総計	206		100.0%

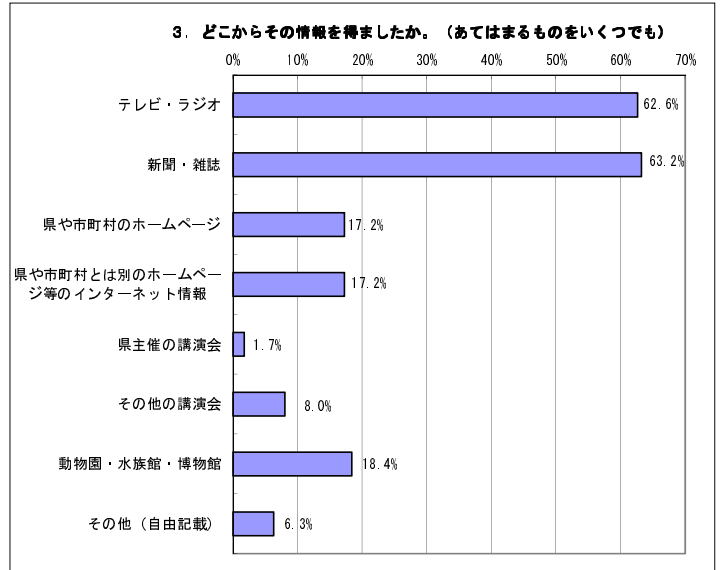


2. 「生物多様性」という言葉を知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
言葉の意味を知っていた	103	206	50.0%
意味は知らなかったが聞いたことがあった	71		34.5%
聞いたこともなかった	32		15.5%
総計	206		100.0%

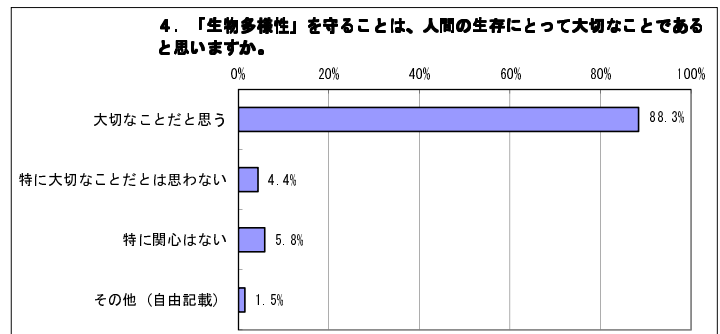


3. Q2で「1.言葉の意味を知っていた」又は「2.意味は知らなかったが聞いたことがあった」を選択された方にお聞きします。どこからその情報を得ましたか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
テレビ・ラジオ	109	174	62.6%
新聞・雑誌	110		63.2%
県や市町村のホームページ	30		17.2%
県や市町村とは別のホームページ等のインターネット情報	30		17.2%
県主催の講演会	3		1.7%
その他の講演会	14		8.0%
動物園・水族館・博物館	32		18.4%
その他(自由記載)	11		6.3%
総計	339		-

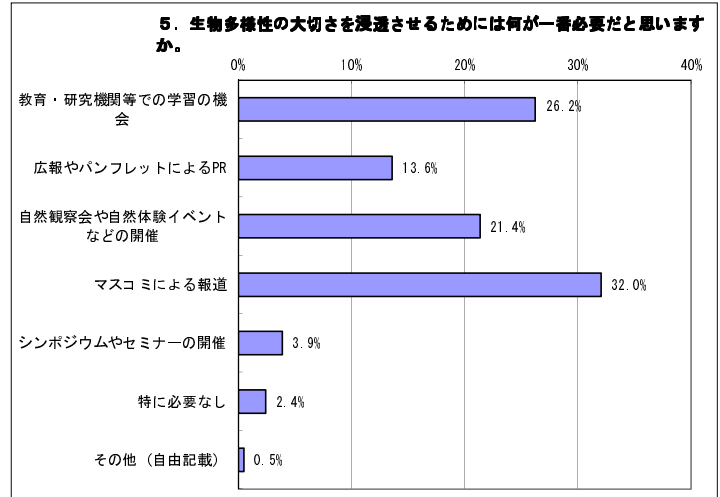
その他(自由記載) 一部抜粋  
大学の一般教養の授業で「生物の多様性」という講義があった。



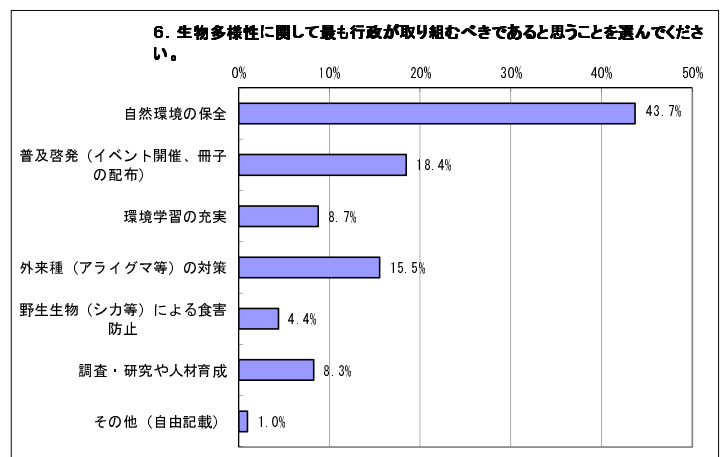
4. 「生物多様性」を守ることは、人間の生存にとって大切なことだと思いますか。	回答数	回答対象者	比率
大切なことだと思う	182	206	88.3%
特に大切なことだとは思わない	9		4.4%
特に関心はない	12		5.8%
その他(自由記載)	3		1.5%
総計	206		100.0%



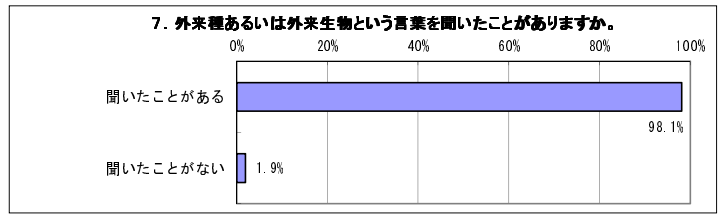
5. 生物多様性の大切さを浸透させるためには何が一番必要だと思いますか。	回答数	回答対象者	比率
教育・研究機関等での学習の機会	54	206	26.2%
広報やパンフレットによるPR	28		13.6%
自然観察会や自然体験イベントなどの開催	44		21.4%
マスコミによる報道	66		32.0%
シンポジウムやセミナーの開催	8		3.9%
特に必要なし	5		2.4%
その他(自由記載)	1		0.5%
総計	206		100.0%



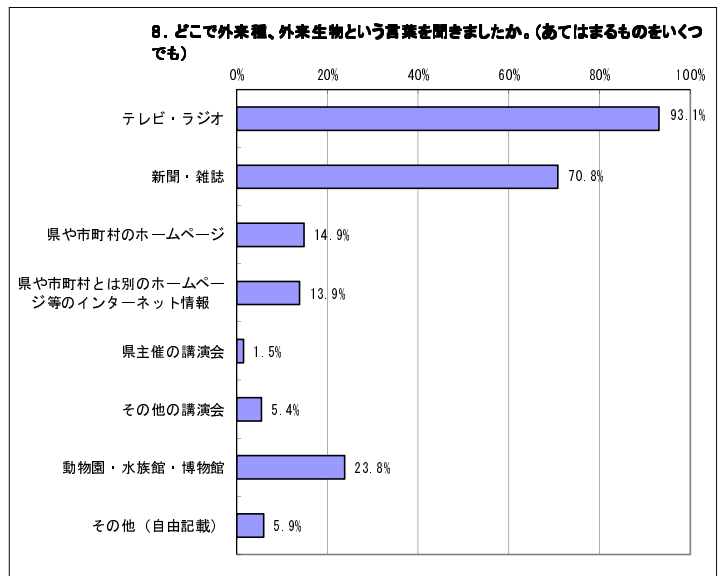
6. 生物多様性に関して最も行政が取り組むべきであると思うことを選んでください。	回答数	回答対象者	比率
自然環境の保全	90	206	43.7%
普及啓発(イベント開催、冊子の配布)	38		18.4%
環境学習の充実	18		8.7%
外来種(アライグマ等)の対策	32		15.5%
野生生物(シカ等)による食害防止	9		4.4%
調査・研究や人材育成	17		8.3%
その他(自由記載)	2		1.0%
総計	206		100.0%



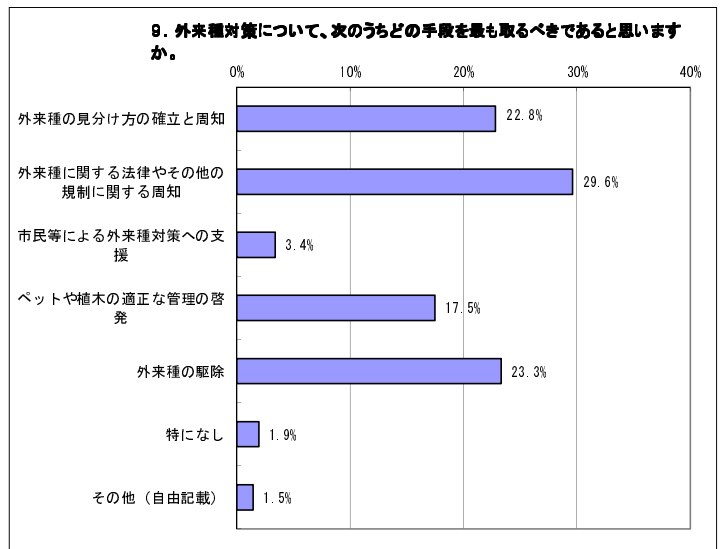
7. 外来種についてお聞きします。外来種あるいは外来生物という言葉を知ったことがありますか。 ※外来種とはもともとその地域にいなかった生きもので、人間の活動によって他の地域から入ってきた生きもののことをいいます。 この設問（Q7）で「1. 聞いたことがある」を選択された方はQ8へ、「2. 聞いたことがない」を選択された方はQ9へ	回答数	回答対象者	比率
聞いたことがある	202	206	98.1%
聞いたことがない	4		1.9%
総計	206		100.0%



8. Q7で「1. 聞いたことがある」を選択された方にお聞きします。 どこで外来種、外来生物という言葉を知りましたか。（あてはまるものをいくつでも）	回答数	回答対象者	比率
テレビ・ラジオ	188	202	93.1%
新聞・雑誌	143		70.8%
県や市町村のホームページ	30		14.9%
県や市町村とは別のホームページ等のインターネット情報	28		13.9%
県主催の講演会	3		1.5%
その他の講演会	11		5.4%
動物園・水族館・博物館	48		23.8%
その他（自由記載）	12		5.9%
総計	463		-



9. 外来種対策について、次のうちどの手段を最も取るべきだと思いますか。 ※外来種の中には私たちの生活に欠かせない生きものもたくさんいますが、中にはもともとその地域にいないもの（在来種）を食べたり、在来種と交雑して雑種をつくってしまうものもあります。対策として、駆除の他に、飼っている外来種を野外に放たないようにする等の注意喚起も挙げられます。	回答数	回答対象者	比率
外来種の見分け方の確立と周知	47	206	22.8%
外来種に関する法律やその他の規制に関する周知	61		29.6%
市民等による外来種対策への支援	7		3.4%
ペットや植木の適正な管理の啓発	36		17.5%
外来種の駆除	48		23.3%
特になし	4		1.9%
その他（自由記載）	3		1.5%
総計	206		100.0%



その他（自由記載） 一部抜粋  
ゴミや作物収穫後のとり残しなど、餌になるものを減らす工夫が大切だと思う。

10. その他、奈良の生物多様性についてのご意見・ご要望があれば自由に記入下さい。（任意回答）	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	69	-	-

（一部抜粋）  
法的な規制は行政の仕事ですが、生物多様性の啓発や自然観察等の実施についてはNPO法人やボランティア団体の育成・活用を図ってはどうでしょうか。  
奈良市内に生活している私たちにとって自然環境保護のために何が出来るかというなかなか難しい問題だと思います。なぜ自然環境保護が必要なのか、というところから始めなければならないと思います。  
台風や洪水の被害は、自然災害で、仕方がないものではなく、森林伐採などの環境破壊で引き起こされるものだとされています。外来種についても、放置すると生態系が変わってしまうから自然環境を守ることが大切なのだとことをみんなに知ってもらわなければならないと思います。しかし、それも実際に目にしなければなかなか関心が持てないのが実情だと思います。  
学生は授業の一環として野外活動に、大人はセミナーだけではなく広くウォーキングやボランティアなどで野外活動に参加してもらって啓発運動を行うのはいかがでしょうか。